

研究課題「大規模 3 次元 CT 画像データベースを利用した胸部疾患のコンピュータ支援診断技術の開発」に関する情報公開

1. 研究の対象

2006 年 1 月 1 日～2012 年 12 月 31 日に当院で胸部 CT を撮影された成人の方

2. 研究目的・方法

本研究は名古屋大学大学院医学系研究科生命倫理審査委員会の承認を受けて行われます。

これまで CT 画像は医師が視覚的に読影して診断してきました。近年では大量の 3 次元 CT 画像が撮影されるようになったため、CT 読影にかかる時間・労力が急速に増加しています。CT 画像をコンピュータで 3 次元解析することが可能となれば、大量の画像データを短時間に解析し、結果を客観的データとして患者さんに提示することができるようになります。本研究では、さまざまな胸部疾患の胸部 CT 画像をコンピュータ解析することによって、医師の視覚的評価に代わる新たな画像診断法を探索すること、さらにそれを応用したコンピュータ支援診断ソフトウェアを開発することを目的とします。

2006 年 1 月から 2013 年 12 月の間に名古屋大学医学部附属病院において撮影された CT の中から約 1000 症例 の胸部 CT を解析に使用します。集められた胸部 CT 画像は匿名化されたうえで、コンピュータで 3 次元画像解析し、胸部疾患の診断に有用なコンピュータソフトウェアを開発します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、呼吸機能検査(肺活量、1 秒量、1 秒率、肺拡散能)、採血データ(WBC、白血球分画、CRP、CEA、ProGRP、シフラ、KL-6、SP-D)、気管支鏡所見、臨床診断、病理診断、治療経過 等

試料：胸部 CT 画像

4. 外部への試料・情報の提供

CT 画像は当施設において個人を特定できないように患者様の氏名・病院 ID を匿名化したうえでパスワードロックのついた記憶媒体(ハードディスクもしくは SSD)に保存し、コンピュータ画像解析を専門とする共同研究機関(名古屋工業大学・山口大学)に郵便書留によって共同研究機関に送付します。そして共同研究機関にて画像解析とソフトウェアの開発を行います。対応表は研究責任者が鍵のかかるロッカーにおいて保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表者：名古屋大学大学院医学系研究科 量子医学 岩野信吾

共同研究者：山口大学大学院医学系研究科 応用医工学系学域 木戸尚治

共同研究者：名古屋工業大学情報工学科 メディア情報分野 本谷秀堅

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者）：

名古屋大学大学院医学系研究科 量子医学 岩野信吾

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL 052-744-2327, FAX 052-744-2335

研究代表者：名古屋大学大学院医学系研究科量子医学 岩野信吾